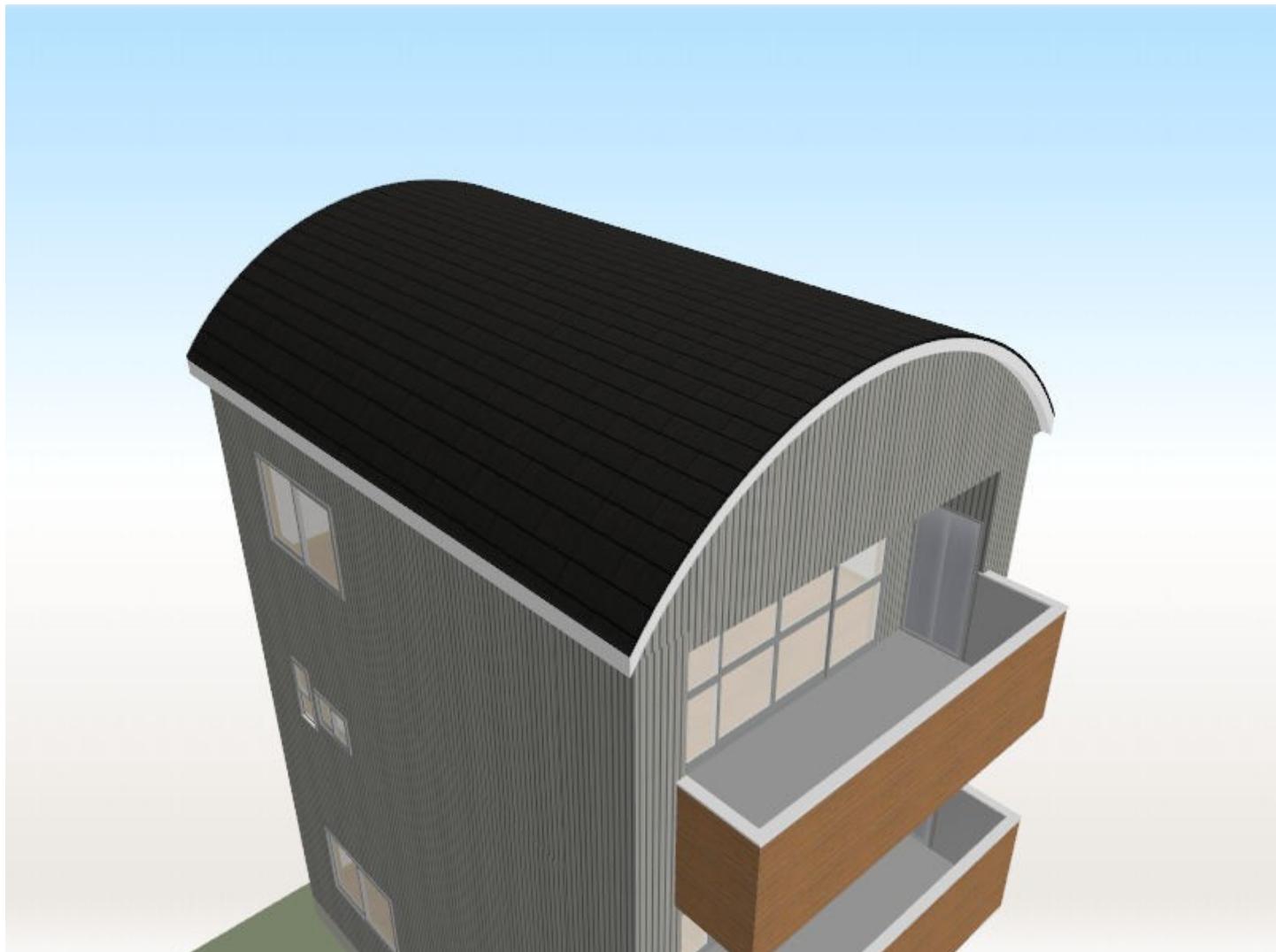


ボルト(かまぼこ)屋根の作成方法

ボルト(かまぼこ)屋根は、間取り画面の屋根作成では作成できません。

立体化した3D画面で、形状作成ツールの「3D多角形」を利用して作成する必要があります。

完成例



※「3DマイホームデザイナーPRO6」で作成しております。

対象バージョン

3DマイホームデザイナーPRO6、PRO5、LS2、マイホームデザイナーLS

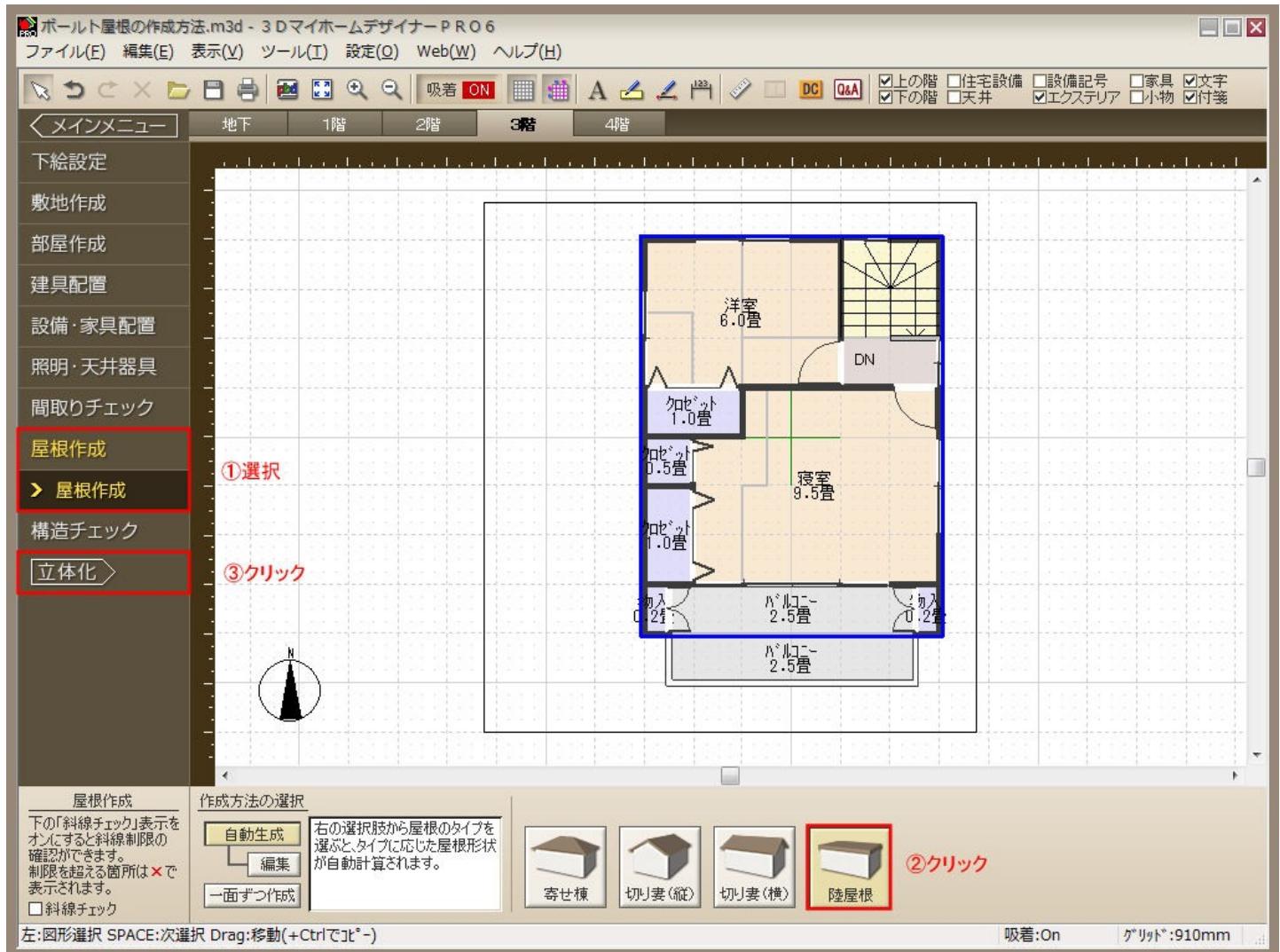
注意

操作2 の操作で自動生成された屋根を削除したあと、間取り編集に戻って再立体化すると、削除した屋根も再立体化されます。

その場合は、**操作2** の1)~3)の手順を繰り返して自動生成された屋根を削除してください。

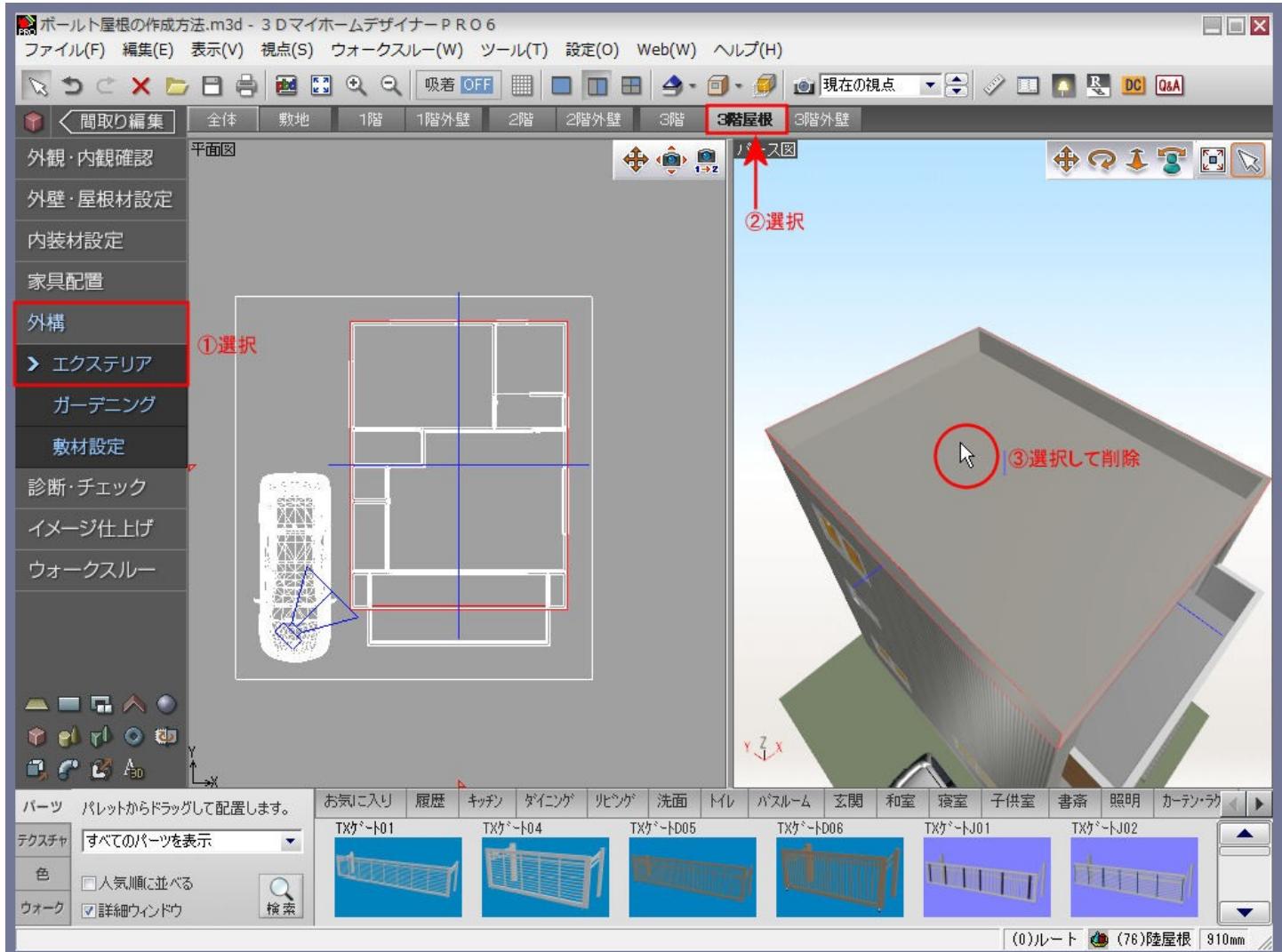
操作1 間取り画面で屋根を設定します。

- 1) 間取りを作成してから、ナビの[屋根作成]—[屋根作成]を選択します。
- 2) パレットから自動生成される屋根の[陸屋根]をクリックします。
- 3) ナビの[立体化]をクリックして立体化します。

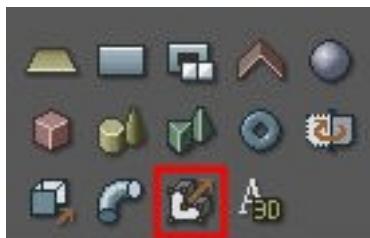


操作2 自動生成された屋根を削除します。

- 1) 立体化したらナビの[外観]—[エクステリア]を選択します。
- 2) 次にフロアタブの[3階屋根]屋根など最上階の屋根を選択します。
※平屋の場合は[1階屋根]、3階建ての場合は[3階屋根]など、目的の屋根タブをクリックしてください。
- 3) パース図か平面図で屋根を右クリックして[削除]をクリックします。

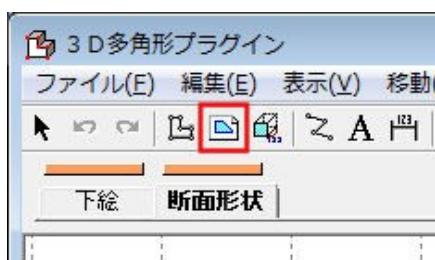


- 4) 屋根を作成するため、形状作成パレットから[3D多角形]をクリックします。

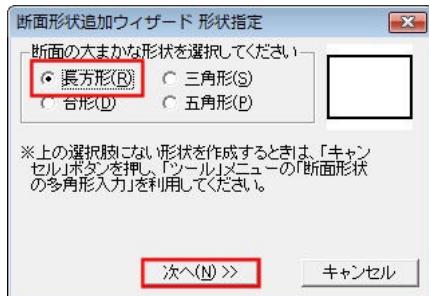


[3D多角形プラグイン]が表示されます。

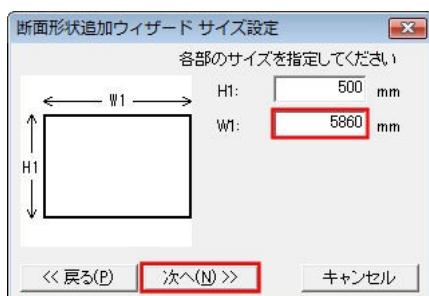
操作3 3D多角形ツールで円弧状の妻壁を作成します。



- 1) [3D多角形プラグイン]が表示されたら、ツールバーの[断面形状追加ウィザード]をクリックします。



- 2) [断面形状追加ウィザード 形状指定]で「長方形」を選択して[次へ]をクリックします。



- 3) 「W1」に妻壁の幅を入力して[次へ]をクリックします。

ここでは「5860mm」としています。

※「H1」はそのまま構いません。

確認画面が表示された[完了]をクリックします。

指定したサイズの長方形が作成されます。

- 4) 作成された長方形の上辺の上を右クリックして[円弧上に変形]を選択します。



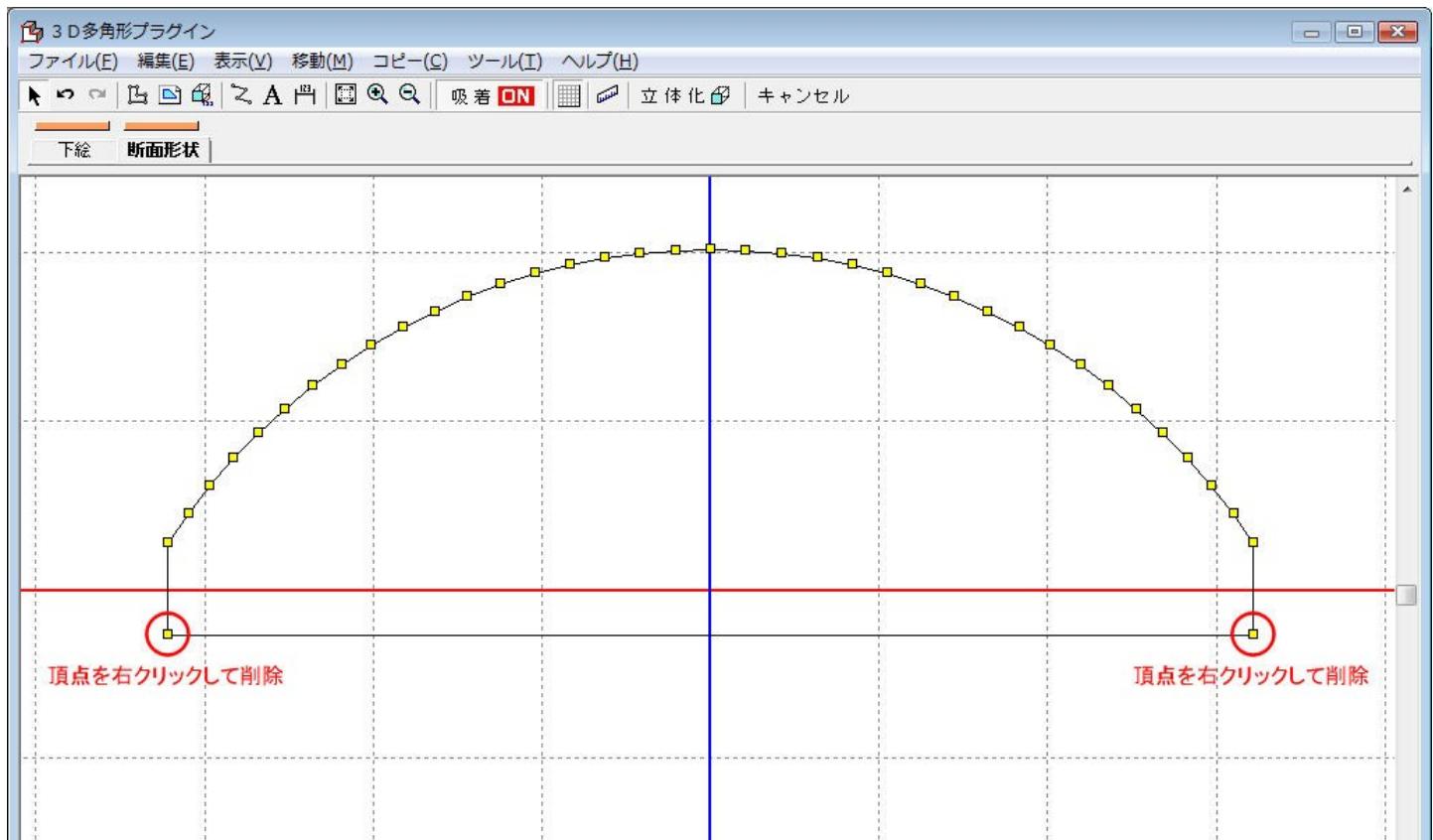
- 5) [円弧の半径入力]で半径を入力して[OK]をクリックします。

ここでは「3500mm」としています。

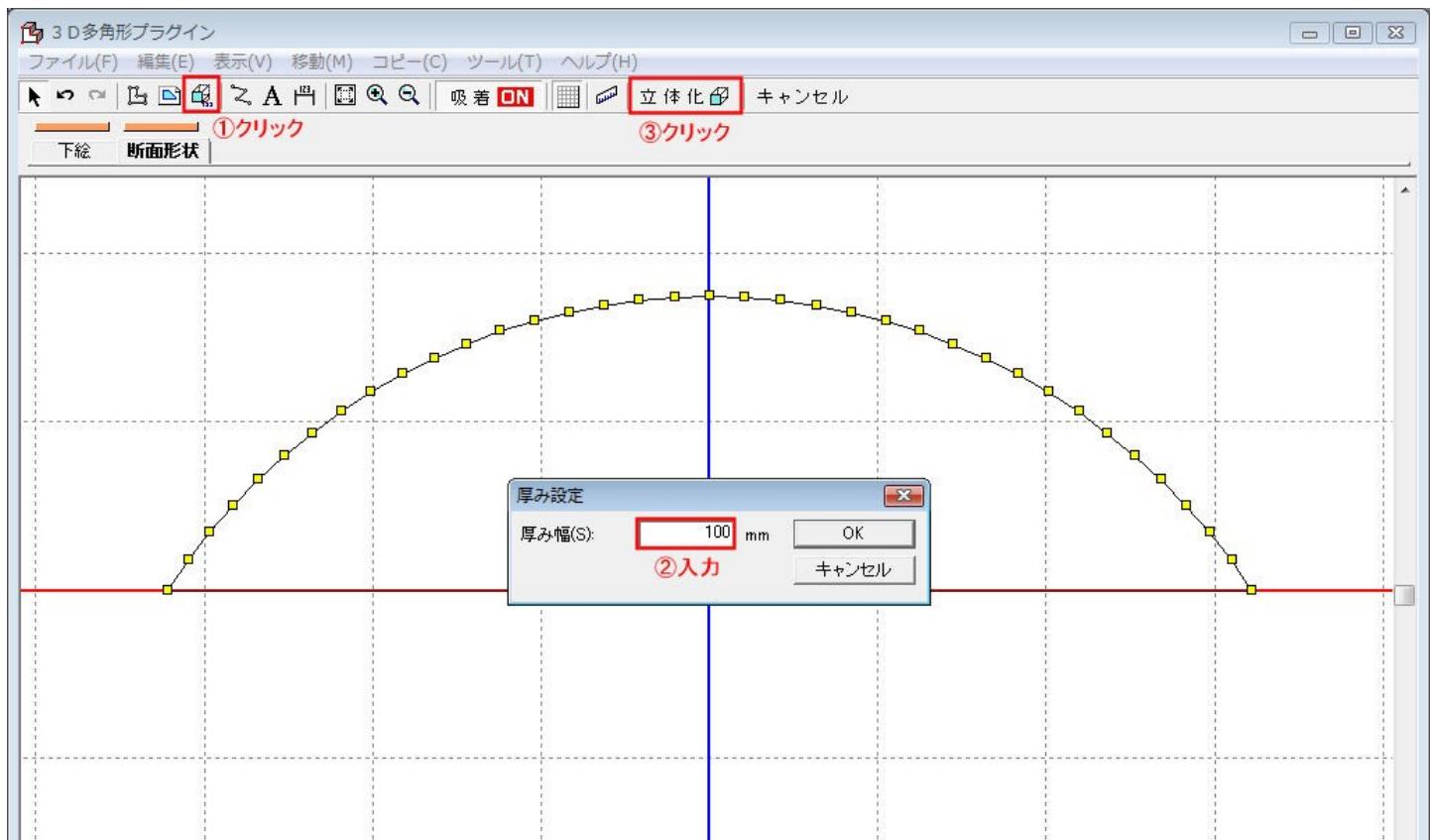
- 6) 円弧が赤い線で表示されます。変形させたい方向にマウスカーソルを移動し、目的の方向になったときにクリックします。



7) 下辺の両端の頂点をそれぞれ右クリックし、[頂点の削除]を選択して頂点を削除します。



8) ツールバーの[厚み設定]をクリックし、表示された[厚み設定]で壁厚を入力します。ここでは「100mm」としています。



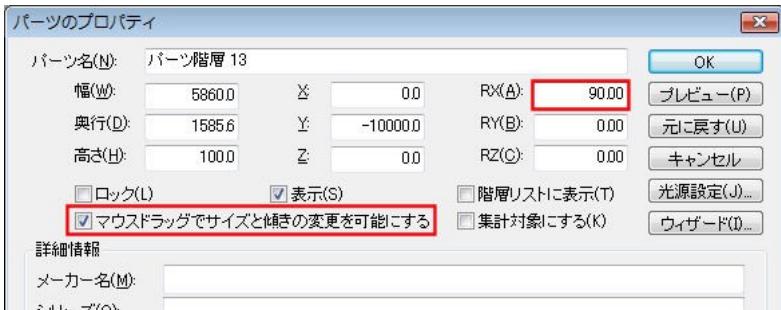
9) 厚み設定後、ツールバーの[立体化]をクリックします。作成した断面図が立体化されます。

MEGASOFT® サポート情報

10) 形状は倒れた状態で立体化されるので起こす必要があります。

立体化された形状をダブルクリックし、表示された[パートのプロパティ]の「RX」に「90」と入力します。

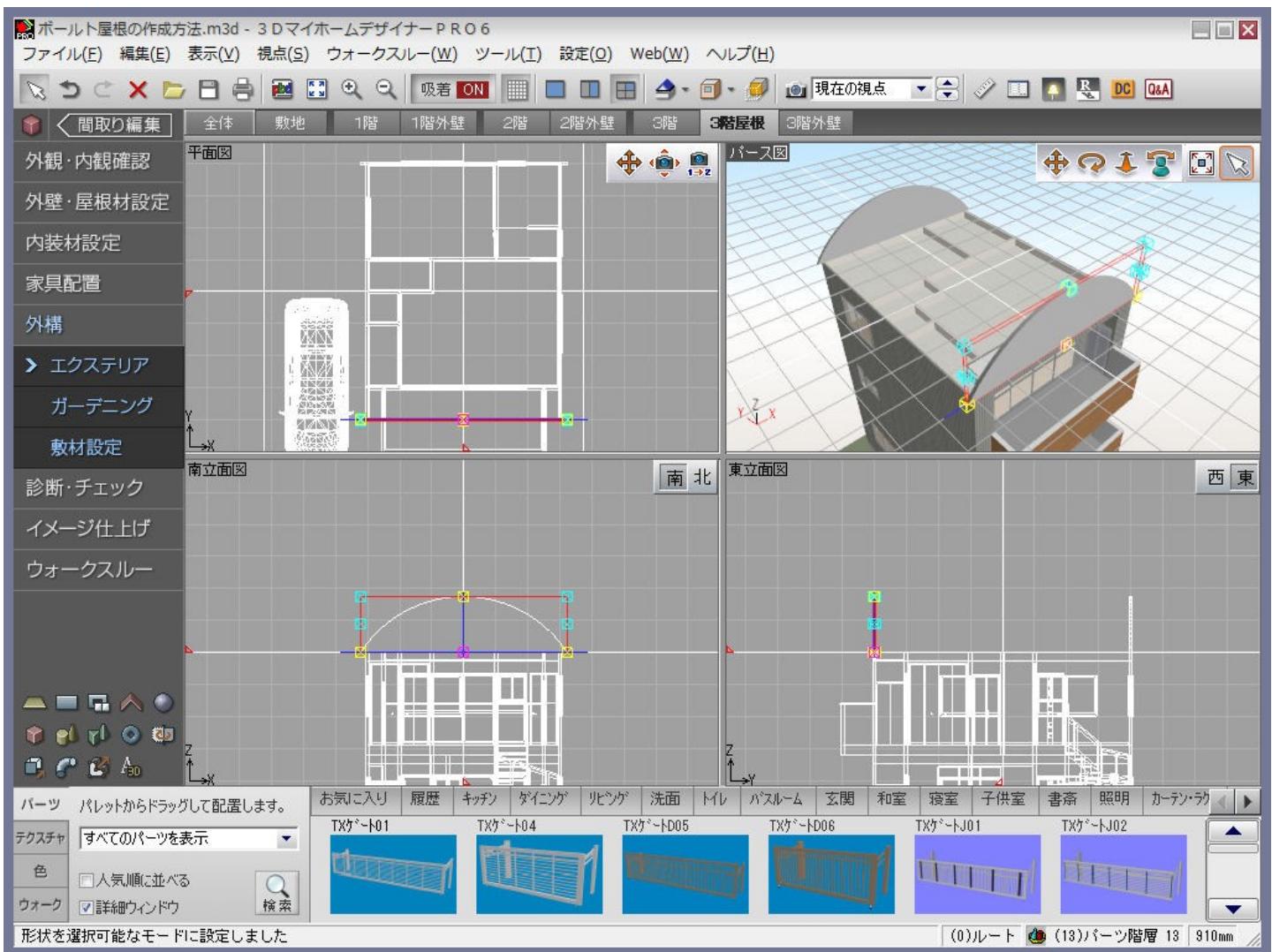
続けて「マウスドラッグでサイズと傾きの変更を可能にする」にチェックを入れて[OK]をクリックします。



形状が回転して起き上った状態になります。

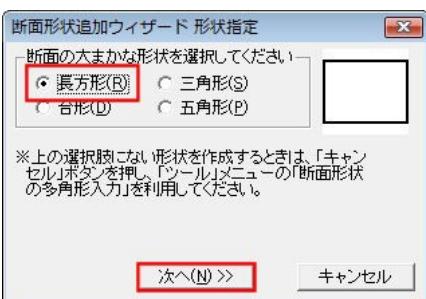
11) 円弧状の妻壁をドラッグして位置を調整します。位置が決まつたらコピーして反対側にも配置します。

※ツールバーの[四面図表示]をクリックして画面を分割すると、配置高さが調整できます。

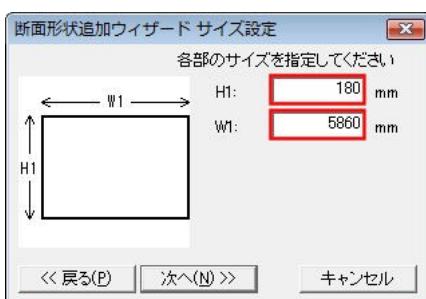


操作4 3D多角形ツールでアーチ状の軒天と屋根面を作成します。

- 1) 円弧状の妻壁を作成したときと同様に、形状作成パレットから[3D多角形]をクリックします。
- 2) [3D多角形プラグイン]が表示されたら、ツールバーの[断面形状追加ウィザード]をクリックします。



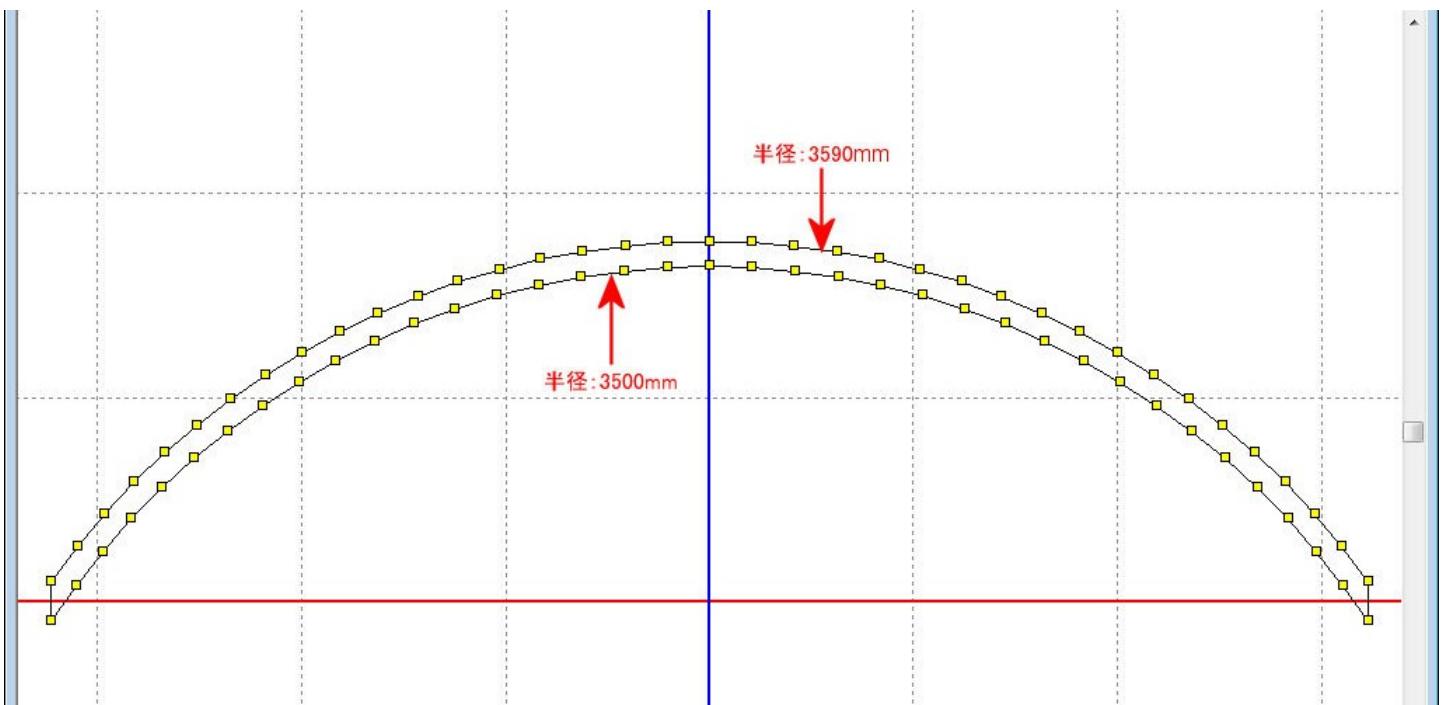
- 3) [断面形状追加ウィザード 形状指定]で「長方形」を選択して[次へ]をクリックします。



- 4) 「H1」に軒天の厚み、「W1」に屋根の幅(軒の出を含む)を入力して[次へ]をクリックします。
ここでは「H1」を「180mm」、「W1」を「5860mm」としています。
確認画面が表示された[完了]をクリックします。
指定したサイズの長方形が作成されます。

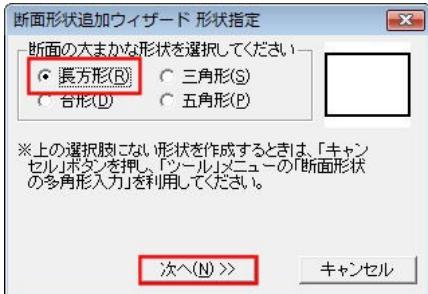
- 5) アーチ状に変形するため、上辺と下辺の両方を円弧状に変形します。

ここでは、下辺の半径を妻壁と同じ「3500mm」、上辺の半径は「3500mm」に軒天の厚み1/2を足した「3590mm」としています。

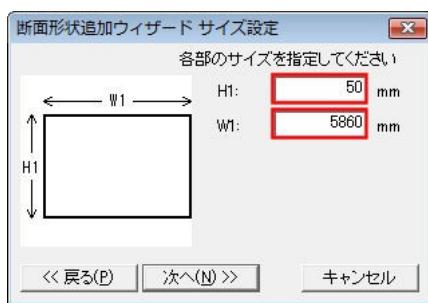


- 6) ツールバーの[厚み設定]をクリックし、表示された[厚み設定]で軒天の奥行きを入力します。
- 7) 厚み設定後、ツールバーの[立体化]をクリックします。作成した断面図が立体化されます。

- 8) 妻壁のときと同様に、立体化された形状をダブルクリックして、表示された[パーツのプロパティ]の「RX」に「90」と入力して[OK]をクリックします。アーチ状の軒天をドラッグして位置を調整します。
- 9) 円弧状の妻壁を作成したときと同様に、形状作成パレットから[3D多角形]をクリックします。
- 10) [3D多角形プラグイン]が表示されたら、ツールバーの[断面形状追加ウィザード]をクリックします。



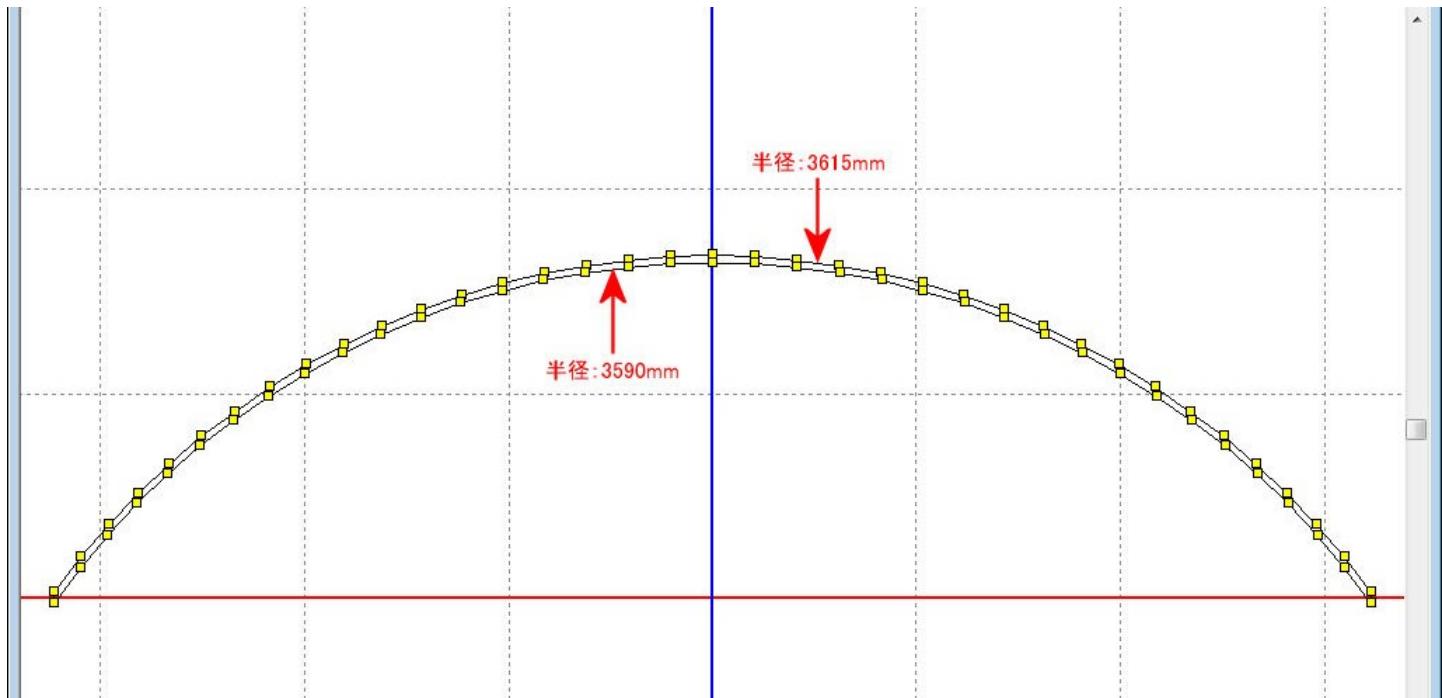
- 11) [断面形状追加ウィザード 形状指定]で「長方形」を選択して[次へ]をクリックします。



- 12) 「H1」に軒天の厚み、「W1」に屋根の幅(軒の出を含む)を入力して[次へ]をクリックします。
ここでは「H1」を「50mm」、「W1」を「5860mm」としています。
確認画面が表示された[完了]をクリックします。
指定したサイズの長方形が作成されます。

- 13) アーチ状に変形するため、上辺と下辺の両方を円弧状に変形します。

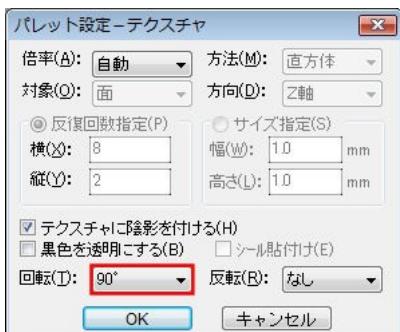
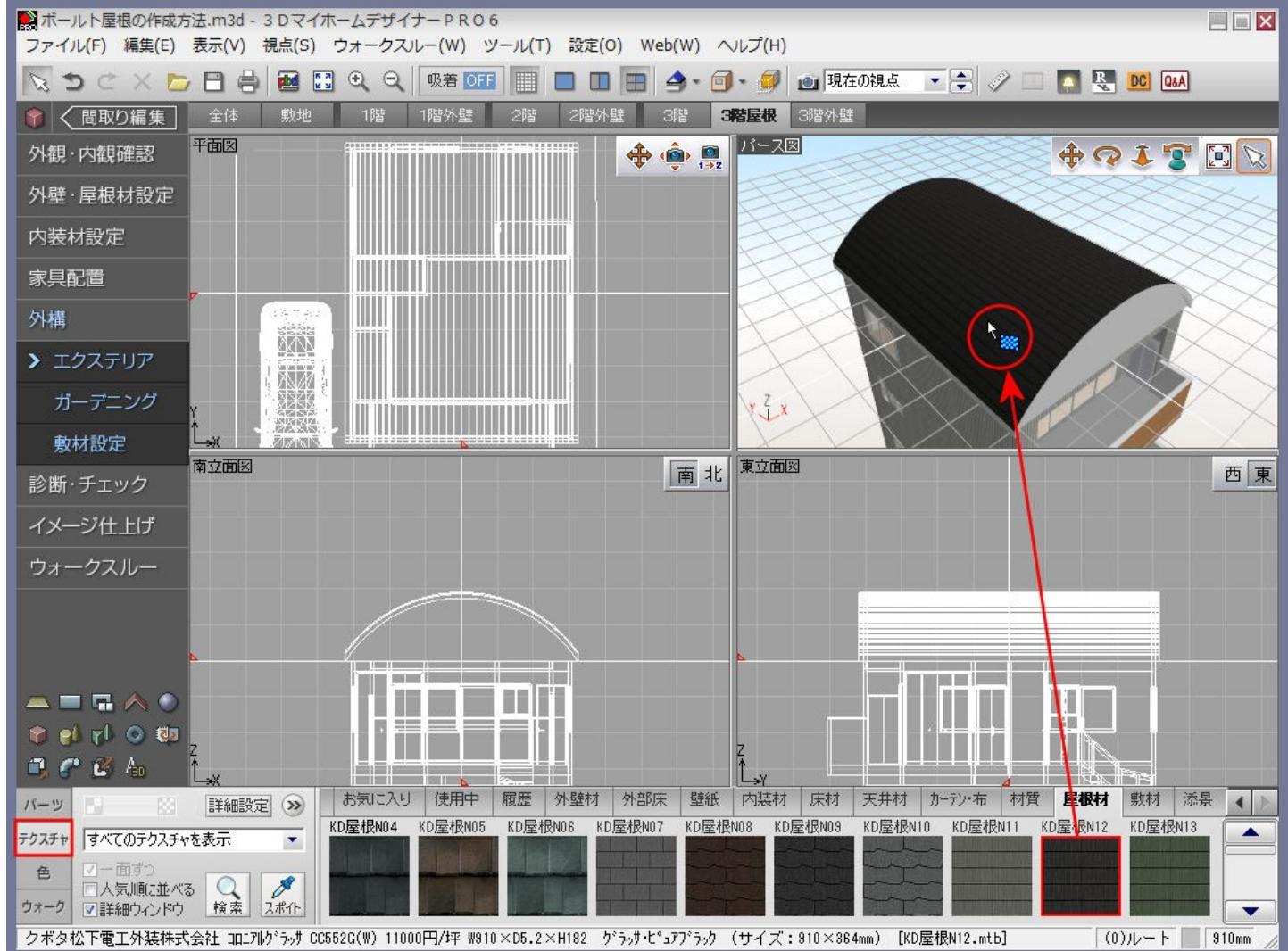
ここでは、下辺の半径を軒天と同じ「3590mm」、上辺の半径は「3590mm」に屋根面の厚み 1/2 を足した「3615mm」としています。



- 14) ツールバーの[厚み設定]をクリックし、表示された[厚み設定]で軒天の奥行きを入力します。
- 15) 厚み設定後、ツールバーの[立体化]をクリックします。作成した断面図が立体化されます。

MEGASOFT® サポート情報

- 16) 妻壁のときと同様に、立体化された形状をダブルクリックして、表示された[パーツのプロパティ]の「RX」に「90」と入力して[OK]をクリックします。アーチ状の軒天をドラッグして位置を調整します。
- 17) [テクスチャ]や[色]パレットに切り替え、作成した妻壁、軒天、屋根面にテクスチャ、色を貼り付けて仕上げます。



*屋根面にテクスチャを貼り付ける場合は、テクスチャパレットの[詳細設定]をクリックし、表示された[パレット設定 - テクスチャ]で、回転を「90°」に設定してから貼り付けてください。